

平成29年度社会福祉法人北海道家庭学校事業報告書

〔概況1〕

児童自立支援施設「北海道家庭学校」の概況

(1) 29年度の暫定定数は29名でした。29年度に入所した児童は10名。退所児童は14名でした。30年3月の初日在籍数は18名で、月末の在籍は11名でした。

(2) 個別的・専門的な対応の必要な児童への配慮

入所児童のうち被虐待経験のあるケース、発達障害を抱えるケースがともに約8割おりました。劣悪な養育環境のもとで育った児童や、集団の中で生活を送ることが困難な児童が増えています。29年度中に心理士により20名の児童に対して延157回の心理面接を行いました。外部講師を招いての講座も性教育を1回、薬物乱用防止を1回実施しました。

(3) 分校と連携しての学習支援と自立支援

入所児童は本館において、遠軽中学校・東小学校それぞれの望の岡分校による授業を受けています。月曜・火曜・木曜の午後には作業班学習として作業を分校の授業の中に取り入れており、家庭学校の職員とともに指導に当たっていただいています。行事においては、分校主催の行事、家庭学校主催の行事、及び共催の行事を開催し、連携を深めています。

(4) 中卒児童への支援

義務教育を終了している中卒児童への支援は、家庭学校職員が児童それぞれの進路に応じたプログラムを用意して対応しました。

I 組織体制について

1 役員

役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	家村昭矩	理事	軽部晴文
常務理事	仁原正幹	理事	高藤和明
理事	太田充子	監事	枝松邦幸
理事	熱田洋子	監事	辻一憲

2 評議員

社会福祉法の改正により、新たに評議員を置くこととし、次の方に就任いただいた。

河原英男	坂本満	佐藤京子	森下一彦
齋藤義信	佐々木雅昭	廣田洋子	

3 評議員選任・解任委員会委員

選任区分	氏名	選任区分	氏名
外部委員	吉川紘	事務局員	楠哲雄
監事	枝松邦幸	事務局員	平井敬二
監事	辻一憲		

4 嘱託医、顧問、苦情解決第三者委員、事故防止対策委員

役職名	氏名	役職名	氏名
嘱託医（精神科）	太田 充子	苦情解決第三者委員	藤江 昭
嘱託医（内科）	瀧本 玲子	苦情解決第三者委員	熊谷 憲子
嘱託医（歯科）	東海林 浩二	事故防止対策委員	木村 一則
顧問 弁護士	村松法律事務所	事故防止対策委員	高橋 久
	村松 弘康	事故防止対策委員	塚田由美子
山林顧問	森島 直樹	事故防止対策委員	神谷 博之
山林顧問	佐藤 盛市	事故防止対策委員	仁原 正幹
酪農顧問	大黒 宏		

嘱託医には、健康診断を中心に入所児童の健康状況を診ていただいた。

苦情解決第三者委員及び事故防止対策委員には、合同の会議を開催し、家庭学校と児童の状況を報告し、助言をいただいた。

○苦情解決第三者委員会・事故防止対策委員会の開催状況

合同会議 平成30年1月24日開催

- ・家庭学校の現状について
- ・児童の意向を把握する仕組みについて
- ・事故の発生状況について

5 北海道家庭学校百年史編集委員会

任期 平成29年4月1日から平成31年3月31日まで

委員長	二井 仁美	北海道教育大学旭川校 教授
委員	大泉 溥	日本福祉大学 名誉教授
〃	富田 拓	国立きぬ川学院 医務課長
〃	河原 英男	遠軽町教育委員会 教育長
〃	森田 穰	北見市立東小学校 校長
〃	家村 昭矩	社会福祉法人北海道家庭学校 理事長
〃	佐藤 京子	社会福祉法人北海道家庭学校 評議員
〃	仁原 正幹	社会福祉法人北海道家庭学校 常務理事 校長
〃	熱田 洋子	社会福祉法人北海道家庭学校 理事
〃	軽部 晴文	社会福祉法人北海道家庭学校 理事 副校長
〃	楠 哲雄	社会福祉法人北海道家庭学校 自立支援部長
事務局	軽部 晴文	社会福祉法人北海道家庭学校 理事 副校長
〃	平井 敬二	社会福祉法人北海道家庭学校 企画総務部主幹
〃	姜 京任	社会福祉法人北海道家庭学校 心理士

編集委員会の開催 第5回 平成29年4月23日

- ・「北海道家庭学校百年史」編集委員会委員長の選出について
- ・「北海道家庭学校百年史」進捗状況の報告について

・平成 29 年度予算について

6 職 員

平成 29 年度在職職員及び事務分掌は、次のとおりです。

職 名	氏 名	職務内容・事務分掌
校 長	仁 原 正 幹	総括
ホ ー ム 長	熱 田 洋 子	がんぼうホーム総括
企 画 総 務 部 長	軽 部 晴 文	企画総務部総括 (副校長兼務 30.3 退職)
主 幹	平 井 敬 二	法人本部事務 (兼) 施設事務・会計
主 任	加 藤 留 美	施設事務 (兼) 法人本部事務・会計
栄 養 士	和 田 希 望	栄養管理 給食献立作成 (29.5 採用)
自 立 支 援 部 長	楠 哲 雄	自立支援部総括
児 童 自 立 支 援 専 門 員	鬼 頭 庸 介	主幹 (石上館寮長・作業指導) 蔬菜班指導
〃	楠 美 和	主幹 (寮運営業務・生活指導) 園芸班指導
〃	前 谷 典 弘	石上館副寮長 石上館寮長(30.2~) 蔬菜班指導
〃	千 葉 正 義	楽山寮長 山林班指導
〃	竹 中 大 幸	本館職員 校内管理班指導
〃	藤 原 浩	掬泉寮長 園芸班指導
〃	木 元 勤	本館職員 中卒クラス担当(がんぼうホーム兼務)
児 童 生 活 支 援 員	千 葉 珠 季	楽山寮母 給食調理
〃	藤 原 美 香	掬泉寮母 給食調理
〃	藤 久 静 恵	本館職員 園芸班指導 給食調理 (29.4 採用)
児 童 生 活 指 導 員	清 水 真 人	がんぼうホーム (中卒クラス兼務)
〃	清 水 律 子	がんぼうホーム
〃	加 茂 文 明	本館職員 山林班指導
〃	大 里 真 子	本館職員 園芸班指導 給食調理 (29.8 採用)
〃	白 野 明 咲	酪農班担当 (29.9 採用)
心 理 士	姜 京 任	心理担当
職 業 指 導 員	夔 本 賢 治	酪農班担当
〃	夔 本 広 美	酪農班担当
〃	中 井 健 司	酪農班担当 (29.4 採用、29.9 退職)
嘱 託	武 田 真 紀 子	給食調理
〃	甲 田 友 紀	給食調理
〃	橋 本 あ け み	給食調理 (29.5 採用、29.10 退職)
〃	松 本 勝 子	給食調理 (30.1 採用、30.1 退職)
〃	中 山 美 智 代	給食調理 (30.1 採用、30.3 退職)
〃	岩 井 紀 昭	給食調理

○役職員・外部委員の数

理事	6名	監事	2名
評議員	7名		
嘱託医（精神科 内科 歯科）	3名	山林顧問	2名
顧問弁護士	1名	苦情解決第三者委員	2名
事故防止対策委員	5名		
百年史編集委員	11名		

○職員数

北海道家庭学校 27名 平成30年3月31日現在

(内 訳) 校長	1名
副校長	1名
事務職	2名
栄養士	1名
児童自立支援専門員	6名
児童生活支援員	3名
児童生活指導員	6名
心理士	1名
職業指導員	2名
嘱託職員	6名
(調理員)	3名)
(嘱託医)	3名)

II 理事会に関すること

1 理事会の開催状況

開 催 日	議 件
第1回 平成29年4月1日	・理事長の選任について
第2回 平成29年6月1日	・平成28年度社会福祉法人北海道家庭学校一般会計予算（第3次補正）について
	・平成28年度事業報告及び決算報告について
	・平成29年度社会福祉法人北海道家庭学校一般会計予算（第一次補正）について
	・社会福祉法人北海道家庭学校定款の一部改正について
	・評議員会の開催について
	・社会福祉法人北海道家庭学校旅費規程の一部改正について
	・「社会福祉法人北海道家庭学校創立100周年記念誌」（仮題）編

	集委員会規程の一部改正について
	・外部委員の委嘱について
	・「北海道家庭学校創立 100 周年記念誌」編集委員会の構成について
第 3 回	・理事長の選任について
	・常務理事の選任について
平成 29 年 6 月 19 日	・酪農顧問の委嘱について
第 4 回	・所有地の売却について
	・学校隣接地の購入について
平成 29 年 9 月 24 日	・乳製品製造工房への平和寮改築工事について
	・平成 29 年度社会福祉法人北海道家庭学校一般会計予算（第 2 次補正）について
第 5 回	・平成 29 年度社会福祉法人北海道家庭学校一般会計予算（第 3 次補正）について
平成 30 年 3 月 22 日	・社会福祉法人北海道家庭学校給与規程の一部改正について
	・平成 30 年度社会福祉法人北海道家庭学校事業計画及び一般会計予算について

2 監事監査の実施状況

- ・平成 29 年 5 月 23 日 平成 28 年度決算監査
- ・平成 29 年 9 月 14 日 定期監査
- ・平成 29 年 12 月 11 日 定期監査
- ・平成 30 年 3 月 12 日 定期監査

III 諸規程の整備について

関係法制度等の動き、家庭学校の運営や職員の勤務実態に即して、次のとおり諸規程を整備しました。

1 定款の一部改正

- ・改正社会福祉法との整合性を図るため、議事録に関する文言を改正した。

2 旅費規程の一部変更

- ・新たに評議員を旅費の支給対象に加え、理事長の日当の額を改正した。

3 給与規程の一部変更

- ・国の人事院勧告にならない俸給表を改定するとともに、期末勤勉手当を年間 4.2 か月分から 4.4 か月分に改定した。

IV 主要工事・新規購入について

- 1 校内連絡用無線機の整備 3, 181, 618円
- 2 移送用車両の更新 3, 060, 000円（うち年賀寄付金127万円）

V 入所児童の現況について

1 入所児童について

(1) 29年度における児童の入退所状況（初日在籍人数及び各月の入退所数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
在籍者数	15	15	16	15	14	15	15	15	16	17	17	18	月平均 16
入所者数	1	1	0	0	1	0	0	2	1	1	1	2	10
退所者数	1	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	9	14

(2) 平成29年度における退所者の進路等の状況

進路先		人数	進路先	人数
家庭復帰	復学	5	他の児童福祉施設への措置変更	4
	進学	3	不結果（児相に再判定依頼）	2
	就職	0		
	その他	0		
直接就職		0	計	14

(3) 児童相談所別入退所の状況

区分	中央	函館	室蘭	岩見沢	旭川	帯広	釧路	北見	札幌市	計
入所	0	0	0	0	2	1	0	3	4	10
退所	2	3	1	0	1	0	0	4	3	14

2 寮運営について

29年度は一般寮3寮（石上館 掬泉寮 楽山寮）を運営しました。

石上館は29年5月から鬼頭寮長・前谷副寮長、調理員体制で運営し、30年2月から前谷寮長・楠美和寮母体制に変更しました。

3 作業班学習について

月曜・火曜・木曜日の午後、野菜班、園芸班、山林班、校内管理班、酪農班の5班に分かれ、作業班学習を行った。活動内容について、11月21日、22日の両日作業班学習発表会を行いました。

各作業班における主な活動内容は次のとおりです。

	野菜班	園芸班	山林班	校内管理班	酪農班
4月	ビニールハウス補修・造営	花の苗の仮植 温床用ハウス組立	安全講習 薪作 桜山整備	校舎周辺環境整備 スノーポール撤収	バター小屋片付け 電牧張り

	苗仮植				牛のブラッシング
5月	野菜苗植え付け 播種	花の仮植 播種 花壇の畑作り	山菜収穫 林道倒木整理	平和寮浴室補修 味噌作り	除草 徐角 牛舎窓拭き サイレージ片付け
6月	野菜の苗の定植 雑草抜き	花の苗定植 花壇の畑作り	山菜収穫 林道倒木整理	平和寮浴室補修 山菜収穫	牧草収穫
7月	牧草収納応援 移殖	花の苗定植 花壇の除草	環境整備	平和寮浴室補修	牧草収穫 サイレ ージ拡張工事
8月	追肥 野菜収穫	花壇の除草	灌木整理		除草 電牧整備
9月	秋野菜の播種 野菜収穫	花壇の除草 環境整備 花の苗の仮植	林道整備	排水土管交換 サイレージ拡張工 事	サイレージ製造 バンカーサイロ作 り
10月	野菜の収穫 落ち葉集め 天地返し	ドライフラワー作 り 土作り 花壇の後片付け	神社山整備 倒木整理	サイレージ拡張工 事	環境整備 バンカーサイロ作 り
11月	作業班学習発表会				
12月	野菜の保存	土焼き	除雪	スノーポール設置 クリスマスリース 作り リフト設置	バター製造 徐角
1月	除雪	除雪	除雪 スキー大会準備	間伐	バター製造
2月	除雪 間伐	播種 育苗 除雪	除雪 スキー大会準備	間伐	除雪 バター製造
3月	除雪 間伐	温床整備 播種 育苗	間伐	間伐	除雪 バター製造

4 事故等の発生状況

(1) 事故発生状況

無断外出	1件	1名	発生当日に町内で保護
嫌がらせ行為	1件	数名	特定児童に対する寮生数名からの嫌がらせ行為
暴力行為	1件	1名	職員への暴力行為
日課中の事故	5件	5名	レクや作業等日課中の怪我等

過去5年間の無断外出の発生状況

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
件数	6	10	10	1	1
延べ人数	13	17	17	1	1

(2) 苦情の申し出状況

苦情受け付け箱（希望の声）を本館と給食棟の2カ所に設置し、児童の意見表明の機会を設けています。29年度の苦情受付はありませんでした。

(3) 一群アンケートの実施状況

月に一度全校生にアンケートを実施しました。

5 クラブ活動について

5月から10月まで、土曜日の午前中にクラブ活動を実施しました。

種目は 体育館スポーツ（バトミントン）・外スポーツ（野球）・合気道の3種目。

合気道は、吉野政明先生、棚橋昌司先生にご指導いただきました。

6 年間行事等の状況

4月	6日：一学期始業式 12日：朗読会 17日：散髪奉仕 20日：歯科検診 27日：内科検診
5月	3～4日：校長杯（ミニバレー・ソフト） 9日：花見の会 17日：朗読会 24日：マラソン大会
6月	5日：散髪奉仕 14日：朗読会 18日：運動会
7月	12日：朗読会 14日：釣り遠足 24日：散髪奉仕 25日：一学期終業式 27日：斉美館草刈り清掃
8月	1日：物故者慰霊祭 3～16日：夏季一時帰省 18日：二学期始業式 23日：朗読会
9月	4日：散髪奉仕 6日：相撲大会 20日：朗読会 24日：創立記念日 27～29日：研修旅行
10月	11日：マラソン大会 16日：園遊会 18日：朗読会 23日：散髪奉仕
11月	15日：朗読会 21～22日：作業班学習発表会
12月	6日：朗読会 11日：木彫展 11日：散髪奉仕 13日：音楽発表会 22日：二学期終業式 23日：クリスマス礼拝・晚餐会 27日～1月9日：冬季一時帰省
1月	15日：三学期始業式 17日：朗読会 22～26日スキー学習 29日：散髪奉仕
2月	2日：スキー大会（滑降） 9日：雪像コンクール 14日：スキー大会（大回転） 21日：朗読会 25日：湧別原野オホーツククロスカントリースキー大会
3月	5日：散髪奉仕 14日：朗読会 21日：卒業証書授与式 23日：修了式

7 会議の開催状況

会議を次のとおり行いました。

- (1) 職員会議 … 毎週 1 回定例開催 (原則水曜日午前)
- (2) 成績査定会議 … 成績を査定し、三賞 (努力賞・作業賞・学習賞) を決定する。
7 月 19 日 12 月 12 日 3 月 13 日
- (3) 作業班編成会議 … 4 月 4 日 8 月 17 日 1 月 10 日
- (4) 給食運営会議 … 毎月 1 回定例開催

8 関係機関との連携・打合せ

(1) 児童相談所との連携

児童相談所との連携を深めるため、入所児童の経過判定のための来校時や児童移送等での児相訪問時に打合せや意見交換を行いました。また、運動会、作業班学習発表会、卒業証書授与式の際には各児童相談所に案内しました。

(2) 関係機関との連携

卒業証書授与式には原籍校の校長などの出席を求め、分校が案内しました。

9 児童自立支援計画票の作成

5 月と 11 月にはすべての入所児童の自立支援計画票を作成し、各児童相談所に送付しました。

VI 職員研修について

職員の資質の向上を図るために、職場内研修に努めるとともに、外部の研修会にも参加しました。

校長	
・東北・北海道地区児童自立支援施設長会議	4 月 20 日～21 日：秋田市
・全国児童自立支援施設長会議	6 月 8 日～9 日：神戸市
企画総務部	
・社会福祉法人経営者セミナー	7 月 4 日：札幌市 平井主幹
・紋別保健所感染症予防研修会	10 月 31 日：湧別町 和田栄養士
・食育研修会	9 月 15 日：紋別市 和田栄養士
・村松法律事務所セミナー	11 月 29 日：札幌市 加藤主任
・HACCP 講習会	2 月 5 日：紋別市 夔本指導員
自立支援部	
・職場内研修 非行問題を読んで	4 月～6 月：当校 15 名
・北海道児童相談所等新任職員研修 (聴講)	4 月 24 日～25 日：札幌市 前谷指導員
・向陽学院の心理士業務について	6 月 6 日：北広島市 姜心理士、楠主幹
・職場内研修 AED 講習	6 月 30 日：当校 11 名受講
・職場内新任職員研修「児童福祉と家庭学校について」	7 月 5 日：当校 新任職員
・東北・北海道地区児童自立支援施設協議会職員研修会 (前期)	7 月 27 日～28 日：岩手県 藤原支援員

・「月形刑務所」「沼田町就農支援センター」視察研修	8月30日：月形、沼田 楠部長
・性的問題行動への対応「施設内での性問題行動の理解と支援」	9月15日：当校 21名受講
・全国児童自立支援施設職員研修会	10月4日～6日：宮崎県 楠部長
・東北・北海道地区児童自立支援施設協議会専門部会心理部会	10月19日～20日：当校 姜心理士
・ライフストーリーワークについて	10月19日：当校 21名受講
・エピペン使用講習	10月23日：当校 全員
・紋別保健所感染症予防研修会	10月31日：湧別町 千葉支援員
・「発達障がいを抱えた子ども達の自立を目指して」	11月4日：札幌市 鬼頭主幹
・「発達障がい：言語発達の遅れへの対応から修学までに知っておきたいこと」	11月5日：札幌市 楠主幹
・オホーツク地域児童虐待防止講演会「虐待と貧困」	11月7日：北見市 藤久支援員
・東北・北海道地区児童自立支援施設協議会専門部会支援部会	11月9日～10日：盛岡市 楠主幹
・北海道自立支援施設研究協議会	12月6日～7日：北広島市 藤原専門員、千葉支援員
・全国児童自立支援施設職員研修会（中堅職員）	1月23日～26日：埼玉県 千葉専門員
・児童福祉施設心理職員経験交流研修会	2月1日～2日：北広島市 姜心理士
・職場内研修 被措置児童虐待防止研修	2月6日：当校 全員
・東北・北海道地区児童自立支援施設協議会職員研修会（後期）	2月15日～16日：宮城県 鬼頭主幹
・若年者自殺対策研修会	2月23日：紋別市 姜心理士、藤久支援員
作業安全講習会	
・チェーンソー安全教育研修	4月18日～19日：北見市 加茂指導員
・刈払い機作業安全衛生教育	4月22日：北見市 藤原専門員、夔本職業指導員、 前谷指導員
	8月30日：北見市 大里指導員

VII 生産活動

1 山林経営管理について

平成23年4月に森林法の一部が改正され、林班単位の面的まとまりのある森林を対象として森林経営を行うこととしました。平成29年度は森林経営計画の5年目となり、森林組合に委託して、次の事業を中心に、材木の育成の促進及び健全化のための事業を実施しました。家庭学校の所有する山林は、遠軽町から湧別町にかけて約400haで、樹種は、天然林が42%、カラマツが32%、トドマツが23%、他に、グイマツ、ミズナラ、トウヒ、赤エゾマツとストロブが植えられています。

〈林班別の面積・樹種〉

(遠軽町)

7 1 林班	8 8 ha、天然林広葉樹、カラマツ、一部トドマツ
7 2 林班	8 ha、カラマツ、天然林広葉樹、トドマツ
7 3 林班	3 ha カラマツ、天然林広葉樹
7 4 林班	1 2 8 ha 天然林広葉樹 (7 8 ha)、トドマツ、カラマツ、グイマツ、赤エゾマツ
7 5 林班	8 2 ha、天然林広葉樹 (4 3 ha)、トドマツ、カラマツ、トウヒ、赤エゾマツ
7 6 林班	4 6 ha 天然林広葉樹、カラマツ、トドマツ、赤エゾマツ、ストローブ

(湧別町)

1 8 林班	2 1 ha カラマツ、グイマツ
1 9 林班	2 3 ha トドマツ、カラマツ

山林事業の実施状況

事業名	林班	樹種	事業面積ha	事業費	補助金	自己資金
造 林	71-8	カラマツ	4.60	2,156,609	1,514,791	641,818
下草刈り	71-8 外	カラマツ	18.07	861,948	721,420	140,528
間 伐	71-13	トドマツ	9.12	3,850,948	2,854,044	996,904
					材売上げ	4,770,105 円
野ねずみ駆除	71-4 外	カラマツ	46.41	154,639	112,142	42,497
皆 伐	71-8	カラマツ	3.00		材売上げ	2,365,200 円

平成29年度合計

(平成28年度の状況)

収入 補助金	5,202,397 円	(4,168,377 円)
材売上げ	7,135,305 円	(5,321,529 円)
収入計	12,337,702 円	(9,489,906 円)
支出 事業費	7,024,144 円	(4,397,384 円)
総収支 (収入計-事業費)	5,313,558 円	(5,092,522 円)

2 営農経営管理について

チーズ・バター等の乳製品を販売するための準備として、大黒宏氏、三友由美子氏の指導を受け、平和寮を改修して工房とするための計画を立てました。この計画の推進のため、また職員の休日確保のため酪農担当職員1名を雇用し、これまでの2名体制から3名体制としました。これまで借地として利用していた川口則夫さん所有の牧草地と、それにほぼ隣接している、これまでは別の酪農家が利用していた同じく川口さん所有の牧草地を購入し、家庭学校の所有地としました。新たに入手した土地は平成30年度以降に採草地として利用します。

牧草収穫量＜平成 29 年度＞

圃場	一番牧草				二番牧草			
	面積(ha)	刈取り日	収納日	収量	面積(ha)	刈取り日	収納日	収量
向陽寮裏	0.64	6/13	6/19	ロール 8 本	0.64	8/19	8/23	ロール 6.5 本
神社山	0.9	6/13	6/19	ロール 9 本	放牧利用			
給食棟・楽山寮横	0.9	6/18	6/21	ロール 9 本	0.9	8/19	8/23	ロール 7.5 本
洗心寮前	0.34	6/27	6/30	ロール 3 本	0.34	8/19	8/23	ロール 1.5 本
川口畑 (小)	0.61	6/27	6/30	ロール 6 本	0.61	9/3	9/5	ロール 6 本
礼拝堂裏	0.7	6/27	7/1	ロール 5 本	0.7	8/25	8/28	ロール 5 本
川口畑 (大)	1.37	7/4	7/7、7/8	ロール 36 本	1.37	8/30	9/1	ロール 17.5 本
川口畑 (奥)	0.61	7/4	7/7	ロール 15 本	0.61	9/3	9/5	ロール 9 本
四町畑	3.52	7/6	7/9	ロール 45 本	3.52	8/25	8/28	ロール 16 本
掬泉寮裏	0.52	7/6	7/9	ロール 13 本	0.52	8/25	8/28	ロール 5 本
合計	10.11			ロール 149 本	9.21			ロール 74 本
29 年度	ロール合計 220 本							
28 年度	梱包合計 1,405 個 ロール合計 105.5 本 バンカーサイロ 2 基							

○飼養頭数

年齢	経産牛							育成牛			総計
	7-10	6	5	4	3	2	小計	1	0	小計	
29 年 4 月	5(1)	3	2(1)	2(2)	7(2)	1	22(6)	4(2)	8(3)	12(5)	34(11)
30 年 3 月	7(1)	1	4(2)	5(1)	1	4(1)	22(5)	6(2)	6(3)	12(5)	34(10)

() 内は、ジャージーの頭数で内数である。

	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度
分娩件数	20 件	21 件	19 件
生産乳量	138. 8t	138. 3t	135. 2t
生乳販売金額	10, 434, 267 円	10, 860, 473 円	10, 236, 137 円
個体販売頭数	19 頭	24 頭	20 頭
個体販売金額	2, 776, 577 円	4, 360, 398 円	2, 516, 541 円
バター生産量	131. 9	139. 7	118. 6
バター生産個数	586	621	527

VIII 実習生・研修生の受入れ状況

月	件数	人数	10月	1件	1名
4月	—		11月	2件	23名
5月	—		12月	—	
6月	—		1月	—	
7月	3件	8名	2月	—	
8月	4件	28名	3月	1件	2名
9月	1件	2名	計	12件	64名

〔概況 2〕

自立援助ホーム「がんぼうホーム」の概況

平成 29 年 1 月 1 日に開設後、年度当初は児童自立支援施設（家庭学校）からの 2 名、児童養護施設からの 1 名計 3 名のスタートとなり、4 月に児童自立支援施設（家庭学校）から 1 名、家庭から 1 名受入れし、平成 30 年 3 月まで 5 名の受け入れでしたが、3 月に 1 名が退居、北見児相及び室蘭児相より 2 名の一時保護委託があり、初めて定員が満たされました。

入居者に対しては、就職先探し及び就業が継続できるよう支援を行いました。就学については遠軽高校普通科、定時制、有朋高校通信制、紋別高等養護学校と連携し就業との両立支援を行いました。就業との両立は難しく普通科 1 名は通信制へ移行、定時制 2 名は退学し、年度末においては定時制 1 名、通信制 2 名、高等養護 1 名となっています。就職先は町内企業の協力を得て(有)ウエノ、コープさっぽろ、味の時計台、佐々木産業となっています。

(1) 職員 4名

- (内 訳) ホーム長 1名 (専門員を兼ねる)
児童自立支援専門員 2名 (家庭学校と兼務)
児童生活指導員 2名 (家庭学校と兼務)

(2) 受入状況

- 平成29年4月1日
入居者 3名 (16歳2名、17歳1名)
就学状況 (高校) 普通科1名、定時制3名、通信制1名
- 平成30年3月31日
入居者 6名 (うち2名は一時保護委託 15歳1名、16歳1名、17歳3名、18歳1名)
就学状況 (高校) 定時制1名、通信制2名
- 児童相談所別 札幌市児相3名、中央児相1名、旭川児相1名、北見児相1名、
室蘭児相1名
- 受入前在籍 児童自立支援施設4名、児童養護施設2名、家庭1名

<月別在籍人員推移>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
初日	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
受入	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
退居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
月末	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6

<初日年齢>

15歳	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0
16歳	2	2	2	2	2	2	2	1	1	0	0	1
17歳	1	2	2	2	2	2	2	3	3	4	3	3
18歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
計	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

(3) 職員研修

- 全国自立援助ホーム長研修・視察研修 4月24日～25日：大阪市
清水指導員、律子指導員
- 全国自立援助ホーム協議会仙台大会 10月19日～20日：仙台市
熱田ホーム長
- 全国自立援助ホーム協議会北海道ブロック研修会 12月7日：札幌市 律子指導員